

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年2月27日
札幌市立光陽中学校

1. 学校教育目標

| |
|--|
| 未来を築く豊かな人間性の育成をめざして 高い知性を育てる 豊かな心情を育てる 健康な身体を育てる ねばり強い実践力を育てる |
|--|

2. 今年度の重点推進項目

| |
|---|
| 自己肯定感を高め、授業と家庭学習の充実につなげる 自ら行動する生徒の育成 |
|---|

3. 自己評価結果に対する学校関係者評価

※A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」

A・B・Cは学校評価アンケートから「そう思う」「だいたいそう思う」の合計%から算出。

A…80%以上 B…60%以上 C…60%未満としている。

① 学校教育目標（めざす生徒像）について

| 分野・領域 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|------------------|--|-----------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| よく考えて学ぶ生徒 | 生徒はどの授業にも意欲的に取り組んでいる。 | B 79.1 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校の大きな課題の1つである自ら進んで学習に取り組む生徒の割合は横ばいである。 ・今後も授業を中心としながら、学級活動や手帳指導などさまざまな場面で、見通しをもって物事を計画的に進めることができるよう、スキルを磨いていく。 ・食事や睡眠に関する項目でBが続いているので、関連のある教科の授業や保健だより等を活用しながら、健康的に生活することの重要性を伝えていく。 | A | A |
| | 生徒は自ら進んで毎日の家庭学習に取り組んでいる。 | C 50.0 | | | |
| 明るく素直な生徒 | 生徒はいつでも、誰に対しても明るく挨拶をしている。 | A 88.1 | | | |
| | 生徒は場に応じた正しい言葉づかいができる。 | A 82.1 | | | |
| 丈夫で強い心の生徒 | 生徒は食事や睡眠に気を配り、健康的な生活を送っている。 | B 67.9 | | | |
| | 生徒はいじめや嫌がらせをせず、友達の良さを理解しようと努めている。 | A 87.3 | | | |
| ねばり強くやり抜く生徒 | 生徒は時間を守り、規則正しい生活をしている。 | B 74.9 | | | |
| | 生徒はきまり・心得を意識して生活している。 | A 88.3 | | | |
| | 生徒は行事に一生懸命に取り組んでいる。 | A 94.9 | | | |
| 学校関係者評価委員会による意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・数値を基にした、明確な基準で評価がなされている。 ・学校でできることは限りがあるため、家庭での教育も必要となることがあるだろう。 ・授業に意欲的に取り組むには、生徒の精神面での安定も重要である。先生方の関わりに、さまざまな工夫があるとよい。 ・健康面に関する取組では、本を扱うこと（学校司書の力を借りる）ことも考えられるのではないかな。 | | | | |

② 学校教育目標（めざす教師像）について

| 分野・領域 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--|---|-----------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 楽しくよくわかる授業を進めようとする教師 | 十分な準備をして、わかる授業をしている。 | A 96.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間を守ることの項目のみ達成状況はBがついた。「めざす生徒像」においても同じ項目がBである。教師が始業や終業時刻を守ることに加え、生活委員会のベル席点検の取組へのサポートも大切にしていきたい。 ・授業づくりについては2項目とも達成状況はAであるが、学校生活の大部分が授業であること、また「めざす生徒像」において「意欲的に授業に取り組む」の項目の達成状況が低下していることをふまえ、常に生徒の目線に立って授業改善を心がけていきたい。 | A | A |
| | 教育に携わる者として研修に励み、教員としての資質向上に努めている。 | A 96.2 | | | |
| 優しい温かさの中に毅然とした姿勢で支援しようとする教師 | 適切な服装、適切な言葉づかいを心がけている。 | A 84.6 | | | |
| | 時間を守り、けじめある行動をとっている。 | B 76.9 | | | |
| 人間的なふれあいを通して生徒理解に努力する教師 | いつでも、明るくあいさつをしている。 | A 88.5 | | | |
| | 一人一人の生徒理解に努め、一人一人の状況に対応している。 | A 96.2 | | | |
| | 生徒と家族と職場の仲間を大切にしている。 | A 92.3 | | | |
| | 報告・連絡・相談を心がけ、明るくチームワークの良い職場づくりをしている。 | A 96.2 | | | |
| いじめ防止基本方針に基づいて組織的に対応し、いじめ問題の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。 | A 88.5 | | | | |
| 学校関係者評価委員会による意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒はよく先生を見ているので、先生方の変化に敏感に気づくものである。先生方が変化することで、生徒も変わっていくはずである。 ・いじめの未然防止とは、具体的に何をしているのか。 | | | | |

③ 今年度の重点推進項目について

| 分野・領域 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------------------------|--|-----------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 自己肯定感を高め、授業と家庭学習の充実につなげる | 授業ならびに家庭学習に関するアンケートのまとめ（項目1, 2および授業評価） | B 78.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・どちらの項目も達成状況に大きな変動はない。現在の取組をベースに、より良い授業づくりに力を入れる。 | A | A |
| 自ら行動する生徒の育成 | 自ら行動し、実践する生徒 | B 67.6 | | | |
| 学校関係者評価委員会による意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業が大切なのはそのとおりだが、「ねばならない」ではなく、一緒に楽しめるような授業を展開できるとよい。 | | | | |

4. その他、委員会からの意見等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの運営委員会にも参加しているが、学年主任の先生方との話から、光陽中の先生方が丁寧に生徒と関わっていると感じている。 ・生徒との距離を縮めるためには「優しさ」だけではなく、「授業のわかりやすさ」が大切である。それが生徒のモチベーションにつながる。 |
|---|